

## 【修学旅行について】

3年生の修学旅行について、本来なら4月の下旬に関西方面へ行く予定でした。ところが、現在でも国内はもとより世界中で感染は拡大中、学校での感染や職場でのクラスターも増えてきている状態です。感染経路が不明なことも多く、陽性が判明した時にはすでに他の人へ感染させている事例も増えています。また、最近では感染後に後遺症が残ったり回復しても再感染もあるようで、この感染症の実態が解明されてきています。

そして、ついには県内の中部地区への感染も起こり、いよいよ身近な問題として報道されたところでした。こうした現状を踏まえて、県内では延期していた修学旅行を中止する学校が増えており、中部地区の中学校でもすでに数校が中止の判断を決定しています。仮に実施する方向にしたとしても、現状では感染状況次第で「旅行前日に急に中止の決定」をする可能性もあり、その突然の対応に苦慮することを想定して、他の学校も今後、大きく変更していきそうな状況です。

こうした中、昨夜にPTAの拡大三役会を開いて、参加者の皆さんのご意見をいただきました。役員さん方や教職員は同じ思いで、生徒たちの「行きたい」という思いも伝わってくる中、何とか「思い出づくりをさせてあげたい」という気持ちが強く、実施することを前提に計画し、昨日までさまざまな情報を収集しながら準備を進めてきました。

しかし、修学旅行アンケートの「・コロナに感染するのが怖いので参加できない。学校に行くことさえ心配している。・普通の学校生活を送れるだけでも本当に良かったという思いが強く、受験も控えているので学校生活の充実をお願いしたい。・修学旅行に行って感染したという思い出はつくってほしくない。・感染した場合、子どもや家族がバッシングに耐えられるとは思えない。」等々のご意見は、この会議の参加者の心にも強く響きました。さらに、他県だけでなく中部地区内での感染者やその疑いのあった方々に対する人権問題が大変厳しい状況となっています。早期にこうした問題に対する人権学習などの取り組みが必要であるというご意見もありました。

仮に実施したとしても参加できないという生徒もあり、参加した生徒とできなかった生徒との「心の溝」が、今後の学校生活に影響が出ることも心配しています。さらには、「3年生の進路」や文化祭等の取り組みもあり、いつまでも判断を引き延ばせないということもありました。皆が長い間悩み、心配してきたことですが、生徒・職員の約170人の活動であり、後輩たちへの影響、全校生徒と職員を含めて約500人という大所帯での今後の学校生活への配慮も必要でした。一人一人の大切な命やそのご家族の方々、またその職場や地域の方々の安全・安心を思うと、最終的には「中止」の決断をすることとなりました。とても残念で大変申し訳ないことですが、今日の学年集会で、校長として3年生の生徒たちにこのことを伝えました。

私は数年前に『2度目の修学旅行』ということで、全国に散らばった大栄中学校時代の同級生たちと一泊二日で京都の金閣寺や嵐山に行きました。自分たちで企画し、全国の仲間に声をかけ、当時お世話になった恩師も参加して下さって同窓会報にその記事を載せたことを覚えています。今年の3年生の皆さんには10年、20年後のいつの日にか自分たちの手で、この仲間たちと楽しい思い出づくりを実現してほしいと思います。

## 【運動会に向けて】

今日の1限、運動会に向けて各学年で学年集会が開かれました。右の写真は、学年種目の説明をしている場面です。「演技」でもあるので一人一人が一生懸命取り組み、その姿や勝敗等の結果を見ていただいた方々にも感動していただけるものにしてほしいと思います。

今年は、さまざまな行事が中止となる中、運動会については生徒自身の力が特に発揮できる行事、先生方に頼ることなく色々なアイデアを出して、見応えのある種目にしてください。

